

日本 J/24 クラス協会臨時総会議事録

2013 年 7 月 27 日 13 時 00 分より、東京都中央区八重洲 1-7-4 矢満登ビル 5F において日本 J/24 クラス協会臨時総会を開催した。

議決権のある正会員数	34 名
出席した議決権のある正会員数 (委任状及び議決権行使書による者を含む)	25 名
出席理事 松本 浩司 (TEMPUS) (議長兼議事録作成者)	
同 桂 禎之 (UP WIND)	
同 首藤 洋一 (TEMPUS)	
同 上松 慮生 (たぼはぜ JR)	
同 高野ユンタ (リトルママ)	
同 白濱 重敏 (WHITE SQUALL)	
事務局 室橋紅里子 (LULL)	

定刻に至り、司会・室橋紅里子が、以上のとおり議決権のある正会員の過半数に相当する正会員の出席があり、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣言した。次いで、規約 21 条に基づき、会長の松本浩司が議長に就任し、議案の審議に入った。

決議事項

第 1 号議案 2016 年 J/24 世界選手権日本誘致の件

議長は、日本における J/24 クラスの現状を説明し、日本における J/24 の活動を再活性化するために、2016 年 J/24 世界選手権を日本に誘致したいと考えている旨を説明し、①今秋開催予定の IJCA の WCM において、日本が立候補することの承認を求めた。また、現在、世界選手権の国内候補地として、逗子・和歌山・博多の三地域があがっているところ、国内候補地は、レースの質や、予想される費用・自治体等からの補助の可能性、今後の J/24 発展への貢献度、宿泊の便宜その他の事情を総合的に勘案して一本化したと考えている旨を説明し、②国内候補地の決定を理事会に一任とすることの承認を求めた。また、世界選手権の日本への誘致に成功したあかつきには、③上限を 1000 万円として協会の預金を取り崩し、ワールド開催のための予算を設定することの許可を求めた。本総会は、満場異議なく、これを承認可決した。

以上をもって本総会における全議案の審議を終了したので、議長は 13 時 30 分閉会を宣

言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議長が次に署名する。

2013年7月27日

日本J/24クラス協会

議長・理事 松本浩司